

地域のつながりが暮らしを支える

～ソーシャルキャピタルと地域プライマリケアから学ぶケアマネジメント～

地域包括ケアシステムの深化・推進が求められる中、介護支援専門員には、医療・介護・福祉のみならず、地域住民や多様な関係機関と協働し、本人の望む暮らしを支えるコーディネーターとしての役割が期待されています。

本研修では、地域医療と介護の連携、地域プライマリケアの視点、そしてソーシャルキャピタル（地域のつながり）の考え方を踏まえ、介護支援専門員が地域で果たすべき役割について学びます。講師による豊富な実践事例を通して、多職種協働・多職種連携を進めるための視点や、地域資源を活かしたケアマネジメントの実践について理解を深めます。

地域の「つながり」は、利用者や家族の暮らしを支える大切な社会資源です。本研修を通して、ご自身が活動する地域のソーシャルキャピタルを改めて見つめ直し、「地域だからこそできる支援」や「介護支援専門員だからこそ担える役割」について一緒に考えてみませんか。

参加費

2,200円

定員

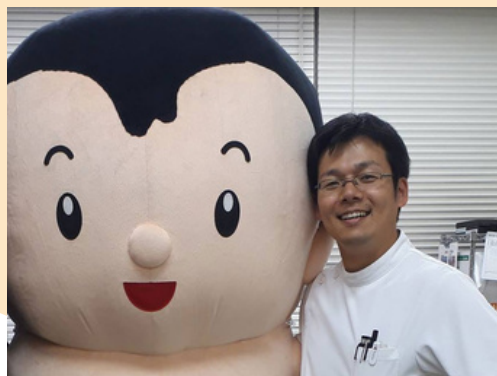
50名
(先着順)

【講師】

- まちづくり系医師・医学博士（福井大学）
- 福井大学医学部地域プライマリケア講座
（高浜町国民健康保険和田診療所/JCHO若狭高浜病院）教授
- 一般社団法人健康のまちづくりラボ 代表理事

井階 友貴氏

1980年兵庫県丹波篠山市生まれ。滋賀医科大学卒業後、2008年より福井県高浜町に赴任、2009年から福井大学医学部の教員として高浜町マスコットキャラクター「赤ふん坊や」と共に地域医療、医学教育、健康のまちづくりに邁進。2018年より同講座教授。2014～5年ハーバード公衆衛生大学院客員研究員、2024年より総務省・地域力創造アドバイザーを兼務。自他共に認める「まちづくり系医師」。



対象 | 介護支援専門員、その他興味のある方

会場 | 東根市さくらんぼタントクルセンター
東根市中央一丁目5番1号

担当 | 山形県老人福祉施設協議会
小林
023-666-8506



11/21 SAT
14:30 - 16:30
(受付開始 14:00)

申込方法 | 二次元コードを読み込み研修システムよりお申込みください

申込期限 | 11月4日(水)

その他 | 研修後に講師との懇親会を予定しております

こちらから



お申し込みは

この研修は、介護支援専門員の資質向上に必要な知識・技術を修得するための研修であり、主任介護支援専門員更新研修の受講要件となる法定外研修となります。